

博 物 館

1. 基本理念

- ・市民の創造性を高めます。
- ・郷土を大切に作る心を育みます。
- ・世代をつなぎます。
- ・歴史を未来に活かします。
- ・学校教育をより豊かなものにします。

2. 施設の概要

・名称	四日市市立博物館	
・所在地	四日市市安島一丁目3番16号	
・開館年月日	平成5年11月1日	
・敷地面積	1,845.840 m ²	
・建設面積	1,590.397 m ²	
・延床面積	10,147.108 m ²	
・建物構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2F、地上6F	
・主な室名と面積		
展示・教育部門	2,156.155 m ²	
常設展示室	2 F	564.691 m ²
常設展示室	3 F	454.618 m ²
特別展示室	4 F	594.798 m ²
ラウンジ	2～4 F	281.020 m ²
情報コーナー	1 F	118.810 m ²
講座室	1 F	142.218 m ²
収蔵部門	1,256.230 m ²	
収蔵庫①	B 2 F	243.290 m ²
収蔵庫①前室	B 2 F	38.880 m ²
収蔵庫②	B 1 F	282.170 m ²
収蔵庫③	B 1 F	384.496 m ²
収蔵庫③前室	B 1 F	76.086 m ²
荷解室	1 F	231.308 m ²
研究部門	430.207 m ²	
作業室	2 F	60.464 m ²
資料整理室	B 1 F	84.370 m ²
文献資料室	3 F	37.952 m ²
資料評価室	4 F	33.300 m ²
くん蒸室	B 1 F	43.070 m ²
スタジオ暗室	B 1 F	87.510 m ²
ビデオ編集室	B 1 F	16.882 m ²
会議室②	4 F	37.952 m ²
会議室③	3 F	28.707 m ²
プラネタリウム部門	1,714.282 m ²	
客室（ドーム）	5 F～6 F	565.017 m ²
天文学習室	5 F	59.081 m ²
天文展示コーナー	5 F	194.763 m ²
プラネタリウム事務室	5 F	59.326 m ²
空調機械室	5 F～6 F	836.095 m ²
管理・一般部門	4,590.234 m ²	
事務室	3 F	105.059 m ²
館長室	2 F	37.001 m ²



会議室①	2 F	50.422 m ²
ミュージアムショップ	1 F	28.723 m ²
警備室	1 F	20.812 m ²
中央監視室	B 2 F	44.064 m ²
設備機械室	B 2 F	486.190 m ²
電気室、発電機室		240.152 m ²
倉庫、展示備品庫など		3,577.811 m ²
プラネタリウム		1,714.000 m ²
ドーム径 18.5m 傾斜型（傾斜度 20度）		
座席	155 席	
ヘリオス		
全天周映画	可能	

3. 展示等事業

(1) 常設展示

博物館の常設展示は、基本テーマ「伊勢湾（うみ）と鈴鹿山脈（やま）のある四日市の文化と生活環境」をもとに地質時代から現代に至る「四日市のあゆみ」をその時代ごとの特色を生かし、テーマ1～テーマ6に分けて展示する。

各テーマのスペースでは、そのテーマのメインとなる展示とその他の詳細な展示に分け、展示資料に応じて実物や複製品、情景模型のほか映像や図表などで表現している。

また、文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄の業績を永く伝えていくため丹羽文雄記念室を常設する。

・テーマ1 北勢地域のおいたちと自然環境

テーマ展示では、本市平津町で発見されたアケボノゾウの臼歯の化石とその全身骨格の復元模型を展示している。

詳細展示では、「自然のすがた」「大地のおいたち」「化石は語る」など現在までの伊勢湾や鈴鹿山脈、伊勢平野の地形と地質の成り立ちや自然環境の様子を展示している。

・テーマ2 原始・古代の人びとの生活

テーマ展示では、縄文・弥生・奈良各時代の集落の様子や古墳時代の前方後円墳の築造過程を情景模型で展示している。

詳細展示では、「石器を使った人びと」「土器を使った

人びと」「米づくりと青銅器の製作」「大和朝廷と北勢地域」「古墳の築造と渡来人の活躍」「律令国家への道」など、旧石器時代から縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良時代を経て平安時代までの人々の生活の様子を展示している。

・**テーマ3 『四日市』と『四日市庭浦』の成立**

テーマ展示では、市名の由来となった中世後期の市や町並みの様子を推定復元し、情景模型で展示している。

詳細展示では、「中世の武士と商人」「伊勢湾諸湊と四日市庭浦」「くらしと生活用具」「いのりと信仰の世界」など、「四」のつく日に定期的に市が開かれて、『四日市』の名称が起こったこと、伊勢湾の水運にも『四日市庭浦』が重要な役割を果たしたことを中心に鎌倉時代から安土桃山時代までの様子を展示している。

・**テーマ4 東海道と伊勢参宮道の賑わい**

テーマ展示では、情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用い、東海道と伊勢参宮道の分岐点である日永の追分の賑わいを再現している。

詳細展示では、「近世への胎動」「宿場と東海道」「四日市湊と町の展開」など四日市が東海道五十三次の四十三番目の宿駅として、また日永が伊勢参宮道との分岐点として発展してきた江戸時代の様子を展示している。

・**テーマ5 四日市港と近代産業の発展**

テーマ展示では、大正時代の市中心部の装置模型や旧四日市港の潮吹き堤防の情景模型を展示している。

詳細展示では、「みなとの整備」「近代のくらしと社会」「地場産業と近代産業」など本市の近代化の大きな礎となった四日市湊の改修と機械生産の技術導入による製糸をはじめ製茶、製網、製油、萬古焼の地場産業に焦点を当て、また、幕末、明治以降から市制を施行し次第に市域を拡大していく昭和初期までの近代の様子を展示している。

・**テーマ6 戦災からの復興と都市の創造**

テーマ展示では、本市の重要な産業である石油化学工業を映像や装置模型で展示している。

詳細展示では、「戦後のあゆみ」「港湾産業都市としての再生」「石油化学工業」「四日市港の輸出入」など。また情景模型に映像を内蔵した特殊映像装置を用いて甚大な被害をもたらした四日市空襲とその後の復興を再現するとともに、産業都市として再生してきた現代の様子を市民生活と産業の二つの視点から取り上げている。

・**コーナー展示 浮世絵四日市・四日市祭り**

四日市が描かれた浮世絵と、戦前には「東海三大祭り」のひとつに数え上げられた四日市祭りの代表的な山車や練り物を縮尺1/20と1/40の復元模型で展示している。

・**丹羽文雄記念室**

文化勲章受章作家で、四日市市名誉市民の丹羽文雄(平成17年4月逝去)の足跡と業績を紹介している。丹羽作品の初版本や豪華本を始め、芸術家のための健康保険組合の創設、「文学者の墓」の建立など、文学者の社会的地位の向上に尽力し、日本文藝家協会理事長を長く務め

た功績などを展示している。

また、20数年にわたって丹羽が私費を投じて刊行した雑誌「文学者」の同人たちが集った丹羽邸応接間も再現されている。

(2) 特別展・企画展

①「江戸の文様 萬古の色 うつわに込められた美と心」		
会 期	平成22年4月24日(土)から 6月13日(日)までの45日間	
観 覧 料	一般 300円 高・大生 200円	
入館者数	1,728人	
ワークショップ*	5月22・23日	萬古焼に挑戦

②「ひめゆり 平和への祈り[沖縄戦から65年]」		
会 期	平成22年7月21日(水)から 9月5日(日)までの41日間	
観 覧 料	一般 700円 高・大生 500円	
入館者数	9,383人	
講演会	8月7日	「戦争体験をとおして平和を考える」
講演会	8月8日	「戦争体験をとおして平和を考える」
ワークショップ*	8月21日	「平和について考えよう」

③「2010 イタリア・ボローニャ国際絵本原画展」		
会 期	平成22年10月2日(土)から 10月31日(日)までの26日間	
観 覧 料	一般 700円 高・大生 500円	
入館者数	5,178人	
ワークショップ*	10月9日	「絵本をつくろう!」
ワークショップ*	10月11日	「あべ弘士さんとどうぶつをつくろう!」
講演会	10月11日	「あべ弘士さんの動物に会う方法」

④「サンデー・マガジンのDNA～週刊少年漫画誌の50年～」	
会 期	平成22年11月7日(日)から 12月26日(日)までの43日間
観 覧 料	一般 700円 高・大生 500円

入館者数	4,410人	
ワークショップ	11月13日	漫画をつくろう！
ギャラリートーク	11月20日	齋藤宣彦（本展監修者）

⑤「なつかしい暮らし」		
会期	平成23年1月29日(土)から 3月16日(水)までの40日間	
観覧料	一般 300円 高・大生 200円	
入館者数	7,204人	
ワークショップ	1月30日	暮らしの道具を使ってみよう
ワークショップ	2月5日	昭和っ子のあそびをしよう
ワークショップ	2月12日	おやつをつくろう

⑥『第52回北勢地区高等学校美術展』		
会期	平成23年1月18日(火) から23日(日)までの6日間	
入館者数	624人	

(3) 特別陳列・学習支援展示

学習支援展示

①大昔の四日市 —弥生時代と 古墳時代—	4月17日(土) ～5月30日(日)	サルビアギャラリー ・3Fロビー
②四日市空襲と 戦時下の暮らし	6月12日(土) ～9月5日(日)	サルビアギャラリー ・3Fロビー
③近代四日市港と 稲葉三右衛門	10月16日(土) ～1月10日(月・祝)	サルビアギャラリー
④むかしのくらし	1月29日(土) ～3月16日(水)	4F特別展示室

4. 教育普及事業

(1) 子ども博物館教室

①ワークショップ（全6回）

〔場所：講座室及び館内〕

5月22日	土	萬古焼に挑戦	陶芸家 苫米地 正樹
6月19日	土	四日市空襲の お話を聞こう	当館指導主事 野口 裕
7月24日	土	博物館を 探検しよう！	当館学芸員 廣瀬 毅
8月21日	土	平和について 考えよう	

10月9日	土	絵本をつくろう！	
11月13日	土	漫画をつくろう！	

②親子で挑戦！ 楽しい年中行事（全5回）

5月1日	土	端午の節句	当館学芸員 廣瀬 毅 当館指導主事 野口 裕
6月12日	土	たなばた	
9月18日	土	いも名月	
12月11日	土	お正月	
2月26日	土	ひなまつり	

③むかし体験シリーズ（全3回）

1月30日	日	暮らしの道具を 使ってみよう	当館指導主事 野口 裕
2月5日	土	昭和っ子の あそびをしよう	当館学芸員 廣瀬 毅
2月12日	土	おやつをつくろう	

(2) ミュージアムセミナー

月 日	内 容	講 師
9月5日(日)	高橋 由一	田中善明(三重県立 美術館学芸員)
10月3日(日)	黒田 清輝	牧野研一郎(愛知県 美術館館長)
11月7日(日)	岸田 劉生	山田諭(名古屋市美 術館学芸員)
12月5日(日)	前田 青邨	吉田俊英(豊田市美 術館館長)

(3) 大人の社会見学 博物館バックヤードツアー

5月16日(日)・11月14日(日)

(4) 教員のための体験的博物館研修

8月17日	火	教員のための 体験的博物館研修	当館企画普及係 職員
-------	---	--------------------	---------------

(5) 博物館実習（大学生・大学院生対象）

7月27日(火)～8月1日(日) 共通実習

8月3日(火)～8月6日(金) 個別実習
受講生12人(9大学)

(6) 職場体験 (中学生対象)

体験学校数 11校
体験者数 男子31名・女子7名 計38名

(7) 学習支援展示「むかしのくらし」学校見学の対応
(小学校3年生対象)

【今年度は企画展2「なつかしい暮らし」展の一部として展示】

見学学校数 41校
見学者数 市内2419名・三重郡410名
・その他161名 計2990名

(8) ボランティアの養成と協働

登録者数 94人 延べ活動者数 958人

5. 資料収集・保存

(単位：件) (平成23年3月末現在)

1	区分	実物・標本	模写 複製
人 文 学 資 料	(1) 考古	1,070	29
	(2) 美術工芸	2,614	10
	(3) 民俗	4,479	10
	(4) 歴史	7,990	37
	(5) 文学	4,848	0
	計	21,001	86

2	区分	実物・標本	模写 複製
自 然 科 学 資 料	(1) 動物資料	0	0
	(2) 植物資料	3,272	0
	(3) 地学資料	93	2
	(4) 理工学資料	0	0
	(5) 天文資料	7	0
	(6) その他の資料	0	1
	計	3,372	3

6. プラネタリウム事業

季節番組を2種類(家族向けと一般向け)に分けての放映方式を継続・充実させた。一般向け3番組のうち2番組を自主企画で制作し、50分間のフルライブ解説とした。また、通年番組として好評であった、星空をゆっくりと楽し

む星座神話番組「神話の星めぐり」を、毎月季節の星座や代表する星座の神話などを、内容を替えてライブ解説した。

また、市民が天文・科学をより詳しく学習する機会として、「宇宙塾」を年4回実施した。その他、聴覚障害者にも配慮した字幕付き投映、園児や児童を対象とした学習投映、各種コンサートを実施した。

天文普及活動では、小惑星探査機はやぶさの帰還と関連させた番組やパネル展示、帰還カプセル展示、観望会を実施した。また、子ども科学教室、少年自然の家との連携事業、小・中学校との連携による授業など各種の事業を実施し、幅広く天文の普及に努めた。

I プラネタリウム投映事業

(1) 季節番組

冬春番組

① 平成22年2月6日(土)～5月30日(日)
(一般)「宇宙への挑戦ー日本のロケット開発ー」
(家族)「まじめにふまじめ かいけつゾロリ『宇宙たんけん 大さくせん』～おうごんの星をさがせ！編～」

夏番組

② 平成22年6月5日(土)～9月26日(日)
(一般)「宵の明星『金星』のふしぎ」
(家族)「ポケットモンスター ダイヤモンド&パール
～あつまれ！ポケモン星まつり～」

秋冬番組

③ 平成22年10月2日(土)～平成23年1月30日(日)
(一般)「宇宙一直線」
(家族)「まじめにふまじめ かいけつゾロリ『宇宙たんけん 大さくせん』～ちきゅうをめざせ！編～」

冬春番組

④ 平成23年2月5日(土)～5月29日(日)
(一般)「地球×サイエンス ～小惑星衝突の脅威！～」
(家族)「仮面ライダー キバ&電王
デンライナー 宇宙へ！」

星座神話番組 神話の星めぐり

⑤ 平成22年4月1日(木)～平成23年3月31日(木)

4月 しし座特集	10月 いるか座特集
5月 おとめ座特集	11月 ペルセウス座特集
6月 かんむり座特集	12月 ペルセウス座特集
7月 かんむり座特集	1月 うさぎ座特集
8月 番組変更のため中止	2月 こいぬ座特集
9月 いるか座特集	3月 こいぬ座特集

※ 上記①～③の番組については、各1回字幕付き投映を実施(④は23年度に引き続き実施予定)

(2) 学習番組 (団体利用放映)

- ・ 平日の午前 ① 10:00 ② 11:00
- ・ 保育園、幼稚園、小・中学校、高校等の団体対象
- ・ 季節の星座を中心に、年齢・学年に応じた、生解説による双方向型の学習用プラネタリウム

<季節番組・学習番組の放映時刻>

平日 (午前は団体のみ)	学習 10:00 11:00	一般向け 13:20	一般向け 14:40	
土曜日 春夏冬休みの 平日	家族向け 10:30	家族向け 13:20	一般向け 14:40	一般向け 16:00
日曜日・祝日 春夏冬休みの 土・日・祝日	家族向け 10:30	家族向け 13:20	一般向け 14:40	家族向け 16:00

(3) 特別番組

- 「宇宙塾」～天文楽しませんか?～ (全4回)**
- ・ 天文学最前線で活躍中の研究者を講師として迎えて、最新の話題や実験質問、体験講座を織り交ぜた、プラネタリウム特別版 16:30～18:00
 - ① 平成22年8月21日(土)「灼熱の惑星、金星を探れ! 探査機『あかつき』のすべて」
講師:JAXA 教授 阪本 成一
 - ② 平成22年12月23日(木・祝)「はやぶさ プロジェクトチームの挑戦」
講師:JAXA 名誉教授 的川 泰宣
 - ③ 平成23年2月19日(土)「地球のタイムカプセル 化石から探る地球史」
講師:岐阜大学教育学部教授 川上 紳一
 - ④ 平成22年12月4日(土)、平成23年1月15日(土)
宇宙塾実践編【連続講座】
1回目:「かんたん! 撮影テクニック編」
2回目:「かんたん! 画像処理編」
講師:天文研究家 浅田 英夫

※ 教員研修会と兼ねて実施

- 星空生演奏コンサート (全3回)**
- ① 平成22年6月19日(土)「七夕コンサート」
演奏:ピッコロバイオリン 演奏者:グレゴリー・セドフ
時間:19:00～20:30
 - ② 平成22年7月30日(金)
「青島広志のおしゃべりコンサート」
演奏:ピアノ、テノール 演奏者:青島広志、小野勉
時間: 昼の部(家族向け)14:30～16:00
夜の部(一般向け)18:30～20:00

- 星空CDコンサート (全2回)**
- ・ 19:00～20:00
 - ① 平成22年8月13日(金)
夏の星空と「いきものがかり特集」
 - ② 平成22年12月17日(金)
クリスマスの星空と「槇原敬之特集」

- アロマと星の旅(全6回)**
- 平成22年5月18日(火)～23日(日)
平日 11:00～、土日 16:00～ (50分間)

II 天文普及事業

- 小惑星探査機「はやぶさ」特別企画**
- ① プラネタリウム特別番組
「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」
期間:平成22年12月11日(土)
～ 平成23年1月10日(月・祝)
 - ② 帰還カプセル展示
日時:平成22年12月22日(水)～12月26日(日)
*内覧会:12月21日(火)
 - ③ はやぶさパネル展
～小惑星探査機「はやぶさ」60億キロの旅～
日時:平成22年12月11日(土)
～ 平成23年1月30日(日)

- 子ども科学教室 (全2回)**
- ① 夏コース
日時:平成22年7月25日(日) 10:00～17:00
内容:科学工作(4種類)
きらら号での金星観望会 19:30～21:00
 - ② 冬コース
・ 日時:平成22年12月11日(土) 14:30～16:30
内容:はやぶさパーパークラフト工作
・ 日時:平成22年12月18日(土) 14:30～16:30
内容:ビーズ細工教室～はやぶさ携帯ストラップ作り～
・ 日時:平成23年2月13日(日) 11:30～15:30
内容:科学工作(1種類)
きらら号での太陽観望会 13:30～17:00

- 公開観望会 (きらら号が出勤しない)**
- ・ 予定日数 1日(実施回数0日※天候不順のため中止)
ペルセウス座流星群と天の川観望会
日時:平成22年8月12日(木) 19:00～21:00
場所:星の広場(水沢町)

少年自然の家との共催による観望会
<ul style="list-style-type: none"> ・アウトドアセミナー② 天文教育研修を兼ねて実施 ～ペットボトルロケットの製作と星空観察会～ 日時:平成22年8月24日(火) 13:30～21:00 場所:少年自然の家

天文教育研修会
<ul style="list-style-type: none"> ・教育支援課などと共催で、主に教員を対象 ① 宇宙塾(3回) 平成22年8月21日(土)、平成22年12月23日(木・祝) 平成23年2月19日(土) ② 宇宙塾実践編(2回連続講座) 平成22年12月4日(土)・平成23年1月15日(土) ③ アウトドアセミナー② 平成22年8月24日(火) 講師:天文係

天文ボランティア養成講座
<ul style="list-style-type: none"> ・天文ボランティアの新規募集に合わせ、養成講座を実施 実施予定回数:27回 (うち実施回数:25回) 天候不順のため中止:2回 参加者数 20人 講師:天文係、天文ボランティア、四日市市社会福祉協議会ボランティアセンター職員など

学校との連携授業
<ul style="list-style-type: none"> ・市内、三重郡の小中学校を対象に、出前授業を実施 ① バーチャル星空探検 平成22年9月～10月の火～金曜日 対象:小学校4年生 内容:月の動きやスペースシャトルと国際宇宙ステーションについて、立体映像装置を用いて学習する。 実施校数:24校(市内21校、三重郡3校) ② 移動式プラネタリウム 平成22年10月～平成23年1月の火～金曜日 対象:中学校3年生 内容:星の日周運動や年周運動、太陽系、皆既月食などについて学習する。 実施校数:24校(市内20校、三重郡3校、その他1校)

7. 移動天文車「きらら号」事業

口径 20cm の天体望遠鏡を載せた移動天文車による星空観望会を実施した。天文ボランティアの方々の協力を得て、子どもから大人まで多くの人に実際の宇宙の姿を眺めていただいた。

(1) 派遣事業

要請により市内各地へ出動し、天文ボランティアの協力を得て観望会を行った。

「きらら号」稼働状況(派遣事業のみ)
稼働予定件数 40件 (うち派遣回数 33回、中止時の天文教室回数1回) 参加者数 3,666人 (うち中止時の天文教室参加者数 84人) ボランティア数 延べ84人

(2) 主催事業

「きらら号」稼働状況(主催事業のみ)
稼働予定件数:14件 (うち実施回数:11回) 天候不順のため中止:3回 参加者数 1,765人 ボランティア数 延べ60人
① 月と土星と火星を見よう! 日時:平成22年4月24日(土) 19:00～20:30 場所:市民公園(博物館前)
② サンデー太陽観望会 日時:平成22年5月16日(日) 10:00～15:00 場所:四日市ドーム
③ 月と金星を見よう! 日時:平成22年7月25日(日) 19:30～21:00 場所:市民公園(博物館前)
④ サンデー太陽観望会 日時:平成22年8月1日(日) 15:00～18:30 場所:四日市港(ポートビル前)
⑤ 金星を見よう! 日時:平成22年8月1日(日) 19:00～20:30 場所:四日市港(ポートビル前)
⑥ 月と金星を見よう! 日時:平成22年8月21日(土) 19:00～20:30 場所:市民公園(博物館前)
⑦ アウトドアセミナー② 日時:平成22年8月24日(火) 19:00～20:30 場所:少年自然の家
⑧ 木星を見よう! 日時:平成22年12月4日(土) 18:30～20:00 場所:市民公園(博物館前)
⑨ 月と木星を見よう! 日時:平成23年1月15日(土) 18:30～20:00 場所:市民公園(博物館前)
⑩ サンデー太陽観望会 日時:平成23年2月13日(日) 13:30～15:00 場所:市民公園(博物館前)
⑪ 冬の大三角を見よう! 日時:平成23年2月19日(土) 18:30～20:00 場所:市民公園(博物館前)

8. 開館時間等

開館時間

午前9時30分から午後5時まで

(ただし展覧会への入場は午後4時30分までに)

休館日

月曜日(休日の場合は翌日)及び年末年始

館内整備期間(9月上旬)

観覧料金

区分	博物館特別展示	プラネタリウム	プラネタリウム特別番組
一般	その都度定める額	530円	その都度定める額
高大生		370円	

小中生	無料	200円	
-----	----	------	--

※20名以上の団体は2割引 ※博物館常設展示は無料

施設利用

	9時30分～12時	13～17時	9時30分～17時
特別展示室 595㎡	—	—	31,500円
講座室 142㎡	8,400円	12,600円	21,000円
市民ギャラリー94㎡	—	—	2,100円

※観覧料等を徴収する場合は、100分の50を乗じて得た額を加算する。

※博物館の設置目的に反しないもの、事業に支障のないものに限る。

※商業宣伝、営業行為には使用できない

9. 月別観覧者数

月	常設展		特別・企画展		プラネタリウム			月計
4月	26日	764	6日	123	23日	63回	1,149	2,036
5月	27日	1,378	27日	1,066	25日	80回	1,623	4,067
6月	26日	2,627	12日	539	22日	83回	4,450	7,616
7月	27日	2,367	10日	1,072	27日	98回	6,011	9,450
8月	26日	4,094	26日	6,428	26日	105回	10,118	20,640
9月	17日	1,430	5日	1,883	15日	46回	1,740	5,053
10月	27日	2,614	26日	5,178	26日	92回	3,665	11,457
11月	25日	2,095	20日	2,452	25日	86回	3,194	7,741
12月	23日	713	23日	1,958	20日	76回	4,977	7,648
23年1月	24日	1,175	2日	447	22日	75回	2,941	4,563
2月	24日	3,189	24日	4,918	20日	73回	2,879	10,986
3月	27日	2,033	14日	1,839	24日	83回	2,659	6,531
合計	299日	24,479	195日	27,903	275日	960回	45,406	97,788

[参考]

過去3年間の観覧者数

年度	常設展		特別・企画展		プラネタリウム		合計人数
21	300日	22,399人	217日	24,956人	278日	38,538人	85,893人
20	297日	28,781人	221日	38,347人	275日	36,900人	104,028人
19	297日	36,001人	219日	45,980人	275日	41,926人	123,907人